

桜井市教育委員会
教育長 上田陽一 様

2021年2月15日
新日本婦人の会桜井支部
支部長 山森 有見

卒業式・入学式に「日の丸・君が代」を強制しないで 子どもが主人公となる式にしてください

新日本婦人の会は1962年の創立以来、子どもの幸せ、平和と暮らしの向上など女性の願いの実現めざし、全国で運動している国連NGOの女性団体です。20年前から、公立小中学校へのエアコン設置を求めて運動し、とりわけ2018年夏の災害レベルの酷暑に対しては、文部科学省に直接はたらきかけ、すべての小中学校の普通教室へのエアコン設置特別交付金の予算を実現してきました。

昨年3月には、新型コロナウイルス感染拡大による突然の休校、その後学校再開しましたが感染防止をしながらの学校運営にご苦労されていることと思います。また二回目の緊急事態宣言が近隣の府県でだされた今、緊張が高まっていることと存じます。

新婦人は、少人数学級の実現と正規教職員の増員を求め、署名を集めて文科省との交渉を行い、財務省に対しては、教育予算の抜本的な増額を求めているところです。

さて、学校や幼稚園、保育所などの卒園・卒業、入園・入学のシーズンが近づいてきました。卒業式・入学式は子どもの成長を喜び合う大切な行事であり、巢立ちにふさわしい、子どもが主人公の式となるよう願っています。

1999年の国旗・国歌法の制定時に政府は「日の丸・君が代」を「強制しない」「『内心の自由』は保障される」と答弁しました。しかし、学校現場では「日の丸・君が代」に不起立だった教職員が処分されるなど、「日の丸・君が代」の押し付けが続いています。侵略戦争のシンボルとして使われた「日の丸・君が代」にはさまざまな考えを持つ人があり、一律に押し付けることは、憲法で保障された「個人の尊厳」「思想・信条の自由」の侵害です。

新婦人はこうした立場から、「日の丸・君が代を強制しないでください」と、子どもが通う学校や教育委員会に申し入れを続けてきました。

とりわけコロナ禍では、学校のあらゆる行事が縮小され、同時に子どもたちの成長発達のため「本当に大事なこと」にしぼって、工夫しながら開催される努力がされてきたと思います。みんなで歌う合唱も、子どもたちが歌いたい歌を大事にしてください、「合唱は中止だが君が代だけは歌う」という対応はされないよう、以下要請いたします。

卒業式・入学式での「日の丸・君が代」について、慎重なご配慮をいただきますようお願いいたします。

記

- 1、卒業式・入学式は、子どもを主人公にした行事にしてください
- 1、子どもと教職員の内心の自由を保障し、「日の丸・君が代」の強制をしないでください
- 1、式当日、「強制するものではありません」の一言を添えるなど、ご配慮ください

以上